

令和8年1月25日執行

都城市議会議員選挙

指定病院等における不在者投票の手引き



宮崎県明るい選挙キャラクター
神楽めいすいくん

都城市選挙管理委員会

都城市姫城町6街区21号

TEL 0986-23-7864 (1/14まで)

0986-23-7185 (1/15から)

FAX 0986-23-2118

目 次

1	都城市議会議員選挙について	2
2	不在者投票制度とは	2
3	不在者投票のできる期間	2
4	不在者投票をすることができる人	3
5	不在者投票管理者	3
6	不在者投票立会人	4
7	投票用紙等の請求の方法	4
8	投票記載場所の整備	5
9	投票の方法	5
10	投票後の確認	8
11	不在者投票の送致	8
12	投票用紙及び不在者投票用封筒の返還	8
13	不在者投票に要する経費の請求	9
様式1	不在者投票立会人派遣依頼書	11
様式2	依頼書	12
様式3	投票用紙等請求書（代理請求用）	13
様式4	不在者投票用内封筒	14
様式5	不在者投票用外封筒	15
様式6	代理投票処理簿	16
様式7	不在者投票送致書	17
様式8	不在者投票経費請求書	18
様式9	不在者投票者名簿	19
様式10	外部立会人報告書	20
資料1	公職選挙法関係条文の抜粋	21
資料2	指定病院等における不在者投票フローチャート	23
資料3	市町村選挙管理委員会の外部立会人対応状況一覧	24

指定病院等における不在者投票の事務処理

1 都城市議会議員選挙について

(1) 執行日程

告示日 令和8年1月18日(日)

投票日 令和8年1月25日(日)

(2) 選挙人名簿に登録される人

[登録基準日・登録日] 令和8年1月17日(土)

[登録要件]

○住所要件

令和7年10月17日までに住民基本台帳に登録され、引き続き都城市内に居住している人

○年齢要件

投票日現在で満18歳以上の人(平成20年1月26日までに生まれた人)

2 不在者投票制度とは

当日投票の例外として、投票日の前にあらかじめ投票できる制度で、次のものがあります。

- (1) 仕事や旅行などで、選挙期間中、名簿登録地以外の市町村に滞在している方が、滞在先の市町村の選挙管理委員会で投票する。
- (2) 県選挙管理委員会が指定する病院、老人ホーム等(以下「指定病院等」という。)に入院、入所している方などが、その施設内で投票する。
- (3) その他

3 不在者投票のできる期間

- (1) 【令和8年1月19日(月)から令和8年1月24日(土)まで】

※選挙期日の告示日(1月18日)の翌日から投票日(1月25日)の前日まで

- (2) 上記の期間中、毎日午前8時30分から午後5時まで

※ 投票用紙の請求は、告示日前でも可能です

この手引きでは、(2)の場合について説明しています。

4 不在者投票をすることができる人

都城市議会議員選挙の選挙人名簿に登録されている人で、指定病院等に入院(所)中で、次に該当する人が不在者投票をすることができます。病院の職員や病人の付添人は、不在者投票をすることはできません。

- (1) 投票区の区域内の指定病院等に入院(所)中の人で、病気、負傷、妊娠、老衰もしくは身体の障害のため又は産褥のため投票日において、歩くのが困難である見込みの人
- (2) 投票区の区域外の指定病院等に入院(所)中の人で、投票日においてもまだ入院(所)中の見込みの人(「歩行困難」という要件は必要ありません。)
- (3) 投票日において刑事施設等、少年院に収容されている見込みの人

5 不在者投票管理者

指定病院等に入院(所)中の選挙人の不在者投票については、その指定病院等の長が不在者投票管理者となります。

- (1) 不在者投票管理者は、不在者投票に関する手続について最終的な決定権を持ち、不在者投票事務に従事する者を指揮監督し、不在者投票事務全般を管理執行することが役割です。
- (2) 不在者投票管理者が行う主な事務は、次のとおりです。
 - ① 選挙人から依頼があった場合に、その選挙人に代わって投票用紙及び不在者投票用封筒(以下「投票用紙等」という。)の交付を請求すること
 - ② 交付を受けた投票用紙等を選挙人に渡すこと
 - ③ 投票用紙等及び不在者投票証明書を点検すること(直接、本人が請求した場合)
 - ④ 不在者投票記載場所の設備をすること
 - ⑤ 立会人を選び、不在者投票に立ち会わせること
 - ⑥ 代理投票の申請を受け、その可否を決定すること
 - ⑦ 投票の終わった不在者投票を都城市選挙管理委員会に送致すること
- (3) 不在者投票管理者は、不在者投票に関し、その者の業務上の地位を利用して選挙運動をすることができません。
- (4) 指定病院等の長が候補者となった場合又は外国人である場合は不在者投票管理者となることはできません。
- (5) 指定病院等の長が上記(4)に該当する場合、事故がある場合又は欠けた場合は、その長の職務を代理すべき者が不在者投票管理者となります。

6 不在者投票立会人

不在者投票を行うには最低一人の立会人が必要です。

立会人は不在者投票の執行状況を監視する役割を担うので、不在者投票管理者又はその補助執行者と兼ねることはできず、不在者投票の事務に携わることはできません。

また、不在者投票の透明性・公平性の向上が求められていることから、投票が公正に行われることを確保するため、施設関係者以外の第三者の立会人（「外部立会人」）を選任することが公職選挙法で努力義務規定とされました。都城市内の施設においては、都城市選挙管理委員会に依頼していただければ、職員（外部立会人）を派遣いたします。

外部立会人の選定方法

- ① 都城市選挙管理委員会に立会人を依頼する方法（様式1）
- ② 指定施設等で独自に第三者を立会人に選任する方法
- ③ 市町村選挙管理委員会が作成する「外部立会人候補者名簿」から選定する方法

※ ③は都城市内の施設は該当しません（24P 資料3参照）。③の場合のみ、外部立会人に係る経費（謝金と旅費）を都城市に請求できます（詳細は9P）。

【注意】① 立会人の数に制限はありませんが、最低一人選ばなければなりません。立会人がいない状態で行うと無効になりますので注意してください。

② 立会人は、選挙権を有する者でなければなりません。ここでの「選挙権を有する者」とは、日本国民で年齢満18歳以上の者でかつ、失権者でない者でいい、都城市の選挙人名簿に登録されていることは必要とされません。

7 投票用紙等の請求の方法

選挙人からの依頼を受けて、指定病院等の長（不在者投票管理者）が選挙人に代わって投票用紙等を請求できます（以下「代理請求」という）。

- （1） 当該選挙人が選挙の当日にその指定病院等に入院（所）中であり、不在者投票ができる者でなければなりません。
- （2） 選挙人から依頼があったときに限り請求できるものであり、選挙人から依頼があったときは、「依頼書（様式2）」に署名させてください。

身体の故障等により、選挙人が依頼書へ署名することができない場合は、代理の方が選挙人の名前を記入してください。その場合、依頼書の備考欄に「代理記載者 ○○○○」と記載してください。

- (3) その依頼書に基づき、「投票用紙等請求書（代理請求用）（様式3）」を作成し、依頼書（様式2）の写しを添付し、都城市選挙管理委員会に直接又は郵便により請求してください。なお、目が不自由で自書できない選挙人が点字により投票することを申し出たときは、請求書の備考欄に「点字」と記載してください。
- (4) 不在者投票管理者は、投票用紙等を代理請求し、都城市選挙管理委員会から投票用紙等を受領したときは、投票用紙及び不在者投票用封筒（内封筒と外封筒）の数等を確認後、投票用紙等は施錠可能な金庫等で厳重に保管してください。

8 投票記載場所の整備

不在者投票管理者は、次の事項に留意して投票記載場所の設備を整備しなければなりません。

- (1) 不在者投票を行う場所及び日時をあらかじめ放送又は掲示などにより周知する。
- (2) 投票記載場所は、投票が済んだ者や無用の者を退出させられる部屋等とする。
- (3) 投票記載場所には標札を掲げる。 標札例：「〇〇病院不在者投票記載場所」
- (4) 投票記載場所は、他人（不在者投票管理者、不在者投票事務従事者及び不在者投票立会人を含む。）が選挙人の投票の記載内容を見ることができない設備とし、投票の秘密保持に十分注意する。
- (5) 投票用紙の交換その他の不正が行われないように不在者投票管理者及び不在者投票立会人から選挙人の行動を見通すことができる設備とする。
- (6) 投票記載場所に、候補者の氏名等を記載したポスター等の文書が掲示してあるときは、あらかじめ撤去する。
- (7) 投票記載場所には筆記具を用意しておく。

【注意】 指定病院等では、不在者投票の投票記載台等に候補者の氏名の掲示をすることはできませんが、選挙人から候補者の氏名等について尋ねられたときは、当該選挙の候補者全員が平等に掲載されている新聞や選挙公報等を見せることは差し支えありません。

9 投票の方法

(1) 通常の投票

選挙人に投票記載場所において、次の手順により投票をさせてください。

①選挙人本人であることの確認

※ 家族又は付き添いの方が代わって投票することはできません。

※ 選挙人の投票の秘密は、家族や介護人からも守られるべきものです。

②投票用紙等の交付

不在者投票管理者が代理請求したときは、前もって渡すことなく、投票記載場所において記載する直前に選挙人本人に一人ずつ投票用紙、内封筒、外封筒を交付してください。

③外封筒に添付したシールの確認

投票用紙・封筒は、氏名が記載された選挙人専用ですので、氏名を必ず確認してから本人に交付してください。

④投票の手続

選挙人に投票記載場所において、投票用紙に候補者の氏名を記載させ、次により投票を提出させてください。

ア 記載した投票用紙を「不在者投票用内封筒（様式4）」に入れて封をさせる。

イ 次に、不在者投票用内封筒を「不在者投票用外封筒（様式5）」に入れて封をさせる。

ウ 不在者投票用外封筒の表面に、必ず本人に署名させて提出させる。

エ 選挙人が署名を忘れたり、不在者投票管理者、不在者投票事務従事者等が選挙人の氏名を勝手に記載したりすることのないようにしてください。

オ 署名の下に押印したり、封筒に印をもって封かんしたりする必要はありません。

【注意】 点字投票があったときの外封筒の表面の署名は、内封筒を外封筒に入れる前に点字で記載させてください。

（２） 代理投票

心身の故障その他の事由により、自ら候補者の氏名を書くことができない方は代理投票できます。

不在者投票管理者は、選挙人から代理投票をしたい旨の申出があった場合は、代理投票をさせるか否かを決定しなければなりません。

また、不在者投票管理者は、不在者投票立会人の意見を聞いて、投票所の事務に従事する者のうちから、代理投票補助者 2 人を選任してください。この場合において、代理投票補助者の 1 人は、「代理記載人」となり、他の 1 人は「代理記載の立会人」となります。

※この「代理記載の立会人」は「不在者投票立会人」とは兼務できませんので、誤って選任しないよう十分ご注意ください

①代理記載の方法

- ・代理投票補助者 2 人が、選挙人とともに投票記載台に行き、代理記載人が選挙人の指示する候補者の氏名を記載し、代理記載の立会人がそれに立ち会ってください。

【注意】 候補者の氏名を聞くときは、誘導にわたるような聞き方をしないでください。

- ・代理記載人が投票用紙に記載した候補者の氏名を選挙人に読み聞かせてください。

【注意】 読み聞かせるときは、他人（当該選挙人及び代理投票補助者以外の人）に聞こえないようにしてください。

- ・投票用紙を内封筒に入れ選挙人に封をさせてください。

【注意】 選挙人が封をすることができないときは、必ず本人の面前で代理記載人が封をしてください。次の④において同じ。

- ・内封筒を外封筒に入れ選挙人に封をさせてください。
- ・代理記載人が外封筒に選挙人の氏名を記載します。この場合において、代理記載人の氏名は記載しないでください。
- ・代理投票処理簿の記載

代理投票をさせるときは、「代理投票処理簿（様式6）」に記載し、1部は指定病院等に保管し、他の1部は都城市選挙管理委員会に送付してください。

（３） ベッドの上での投票

原則としてベッドの上で不在者投票をさせることはできませんが、重病人等歩行困難な選挙人の投票については、不在者投票管理者の管理のもとで不在者投票立会人の立会いがある限りベッドの上でさせることができます。

この場合、投票の秘密保持には特に注意し、不在者投票の手続は慎重にしてください。

投票用紙等の記載や不在者投票用封筒の封は、原則として選挙人自身にさせるものとし、やむを得ず代理投票補助者等が行う場合は、必ず選挙人本人の面前で行うこと。

（４） 感染症対策

不在者投票を実施する際には、感染防止を図りつつ、投票の秘密保持に注意し、不在者投票の手続を慎重に行う等、選挙の公正を確保できるよう、必要に応じて以下の点に御留意ください。

- ① 選挙人や立会人等の間隔の確保や定期的な換気等、3密（密閉、密集、密接）の防止に配慮してください。
- ② 感染防止のため、投票記載場所やテーブル、椅子等のアルコール消毒等を実施してください。
- ③ 不在者投票管理者、立会人や事務従事者はマスク等を着用し、直接投票用紙等に触れないようにしてください。

- ④ 感染者が他の選挙人と同じ会場で不在者投票を実施する場合、時間帯を分けて実施し、感染者の前にその他の選挙人が投票を行うことも考えられます。

(5) 特例郵便等投票制度

新型コロナウイルスに感染した選挙人等が、郵便等を用いて投票を行う特例郵便等投票につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが新型インフルエンザ等感染症から5類感染症に変更されたことに伴い、特定患者等の郵便等を用いて行う投票方法の特例に関する法律に規定する「特定患者等」に該当する者はいなくなりました。よって、今回の選挙で特例郵便等投票はできません。

10 投票後の確認

不在者投票管理者は、外封筒の表面にはっきりと選挙人の署名がされているかどうかを確かめ、外封筒の裏面に、投票年月日、投票場所(投票記載場所である部屋の名称まで記載すること)、不在者投票管理者の職、氏名を記載し(ゴム印可)、かつ、不在者投票立会人に署名(自書)させてください。

11 不在者投票の送致

「投票済封筒」、「不在者投票送致書」(様式7)、代理投票があったときの「代理投票処理簿」(様式6)及び投票しなかった選挙人がある場合に使用しなかった「投票用紙及び不在者投票用封筒」は、他の適当な封筒(以下「送致用封筒」という。)に入れ、封をして送致してください。

- (1) 送致用封筒は、表面左上方に「不在者投票在中」と朱書してください。
- (2) 不在者投票管理者は、送致用封筒の裏面に記名して印を押し、封印をしてください。
- (3) 送致用封筒は、不在者投票を行った当日に直接又は郵便(速達)をもって都城市選挙管理委員会委員長宛てに送致してください。

※ 令和3年10月より、普通郵便物は土曜日配達が廃止されて、配送がこれまでよりも遅延しますので、郵送の場合はレターパック等の利用をお願いいたします。

※ 投票用紙等の請求後に退院等の方がおられる場合は、速やかに選挙管理委員会へ返却してください。(投票用紙等の返却が無い限り、退院等の方が投票できなくなります。)

12 投票用紙及び不在者投票用封筒の返還

不在者投票管理者は、投票をしなかった選挙人がある場合は、その者の投票用紙等は、「不在者投票送致書(様式7)」に必ずその理由を付して都城市選挙管理委員会に返還してください。

13 不在者投票に要する経費の請求

(1) 請求先

〒885-8555 都城市姫城町6街区 21 号

都城市選挙管理委員会事務局 宛て

(2) 不在者投票に係る経費の請求額

不在者投票をした選挙人一人につき 1,236円

【注意】 投票用紙等の請求をしたが、選挙人名簿に登録されていなかったため投票用紙等の送付を受けなかった者及び投票用紙等の送付を受けたが投票をしなかった者については請求しないでください。

(3) 外部立会人に係る経費の請求額（都城市内の施設は該当しません）

都城市外の施設で各市町村選挙管理委員会が作成する「外部立会人候補者名簿」【(資料3) 参照】に登載された者を不在者投票に立ち会わせた場合のみ、外部立会人に係る経費（謝金と旅費のみ）として、以下の基準額を上限として、実際に支払った金額を請求できます。

1 時間	1,458 円	2 時間	2,917 円	3 時間	4,376 円
4 時間	5,835 円	5 時間	7,294 円	6 時間	8,752 円
7 時間	10,211 円	8 時間	11,670 円	8 時間超	12,400 円

外部立会人に係る経費を請求する際には、立会日・立会時間を確認する書類として「外部立会人報告書（様式10）」及び「領収書の写し」等の支払い金額を確認できる書類を請求書に添付してください。

(4) 請求期限

選挙終了後、令和8年2月上旬までに必ず請求してください。

(5) 請求手続

「不在者投票経費請求書（様式8）」に「不在者投票者名簿（様式9）」を添付して請求してください。外部立会人に係る経費がある場合には、「外部立会人報告書」及び「領収書の写し」を添付して請求してください。

なお、請求内容の確認を依頼することがありますので、不在者投票経費請求書及び不在者投票者名簿は、必ず写しを保管しておいてください。

(6) 不在者投票経費請求書の記載についての注意事項

- ① 訂正の場合は必ず訂正印を押してください。訂正印は、不在者投票管理者の印（法人にあっては法人印、個人にあっては代表者の印）を使用してください。

ただし、請求金額の欄の訂正はできませんので、書き損じた場合は、別の用紙に書き直してください。

- ② 金額は、算用数字を使い、住所は地番まではっきりと書いてください。
 - ③ 支払は、原則として口座払いとします。
 - ④ 振込口座はなるべく口座名義に法人名又は施設名が含まれている口座を指定し、当該口座名義を正確に記載し、上にフリガナを記載してください。
 - ⑤ ゆうちょ銀行口座を指定される場合は、振込用の店名・預金種目・口座番号が必要です。従来の口座番号（記号・番号）のままでは振り込むことができませんので、御注意ください。
 - ⑥ 不在者投票管理者と口座名義が異なる場合は、必ず請求書用紙下部の委任状欄に必要事項を記載・押印してください。
 - ⑦ 振込先通帳の写し（※口座名義、口座番号が分かるページ）を必ず添付してください。
- (7) 不在者投票者名簿の記載についての注意事項
- ① 投票用紙等を請求したが、その送付を受けられなかった者及び投票用紙等の送付はあったが投票しなかった者については記載しないでください。
 - ② 記載欄に余白が生じたときは、斜線を記入してください。

令和 年 月 日

都城市選挙管理委員会

委員長 中邑 順一郎 宛て

指定病院等名称

職名

指定病院等の長の氏名

⑨

都城市議会議員選挙における不在者投票立会人の派遣について(依頼)

表題選挙の不在者投票を下記の日程で実施しますので、立会人の派遣をお願いいたします。

記

1 日 時 令和 8年 月 日 (曜日)
午前 時から午後 時まで

2 場 所 (指定病院等名称)
(住 所)
(階数・部屋名称)

3 人 数 1名

4 連絡先 (担当者)
(電 話)

「写し」を提出ください

様式 2

依 頼 書

令和 年 月 日

不在者投票管理者

指定病院等の長の氏名等

院長 宮崎 花子 様

指定病院等名

私は、令和8年1月25日執行の都城市議会議員選挙の投票を、当 医療法人
〇〇会〇〇病院 において行いたいのので、投票用紙及び投票用封筒の代理請求
を依頼します。

代理記載の場合は、
代理記載者名を記載

番号	選挙人名簿に記載されている住所	氏 名	性 別	生 年 月 日	備 考
1	都城市 〇〇町〇〇-〇〇	〇〇 〇〇	男・女	明・大・昭・平 〇 年 〇 月 〇 日	
2	都城市 〇〇町〇〇-〇〇	〇〇 〇〇	男・女	明・大・昭・平 〇 年 〇 月 〇 日	代理記載者 〇〇〇〇
3	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
4	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
5	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
6	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
7	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
8	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
9	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
10	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	

様式 3

令和 年 月 日

指定病院等名

指定病院等の長の氏名

指定病院等名

点字投票の申し出
があった場合は
「点字」と記載

番号	選挙人名簿に記載されている住所	ふりがな 氏 名	性 別	生 年 月 日	備 考
1	都城市 〇〇町〇〇-〇〇	〇〇 〇〇	男・女	明・大・昭・平 〇年〇月〇日	
2	都城市 〇〇町〇〇-〇〇	〇〇 〇〇	男・女	明・大・昭・平 〇年〇月〇日	
3	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
4	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
5	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
6	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
7	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
8	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
9	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	
10	都城市		男・女	明・大・昭・平 年 月 日	

13

不在者投票内封筒

表

裏

(内 封 筒)

注 意

この封筒には、何も記載しないでください。
この封筒に記載済みの投票用紙を入れ、封をした上、
外封筒に入れてさらに封をしてください。

不在者投票外封筒

表

令和8年1月25日執行
都城市議会議員選挙
不在者投票
(外封筒)

都城市
選挙管理
委員会印

都
城
太
郎

選挙人の署名
必ず選挙人が自分で書くこと

区市町村名 都城市
投票区名 第 〇〇 投票所
〇〇-〇〇-〇〇 号
氏名 ミヤコノジヨウ タロウ
選挙人名簿
整理番号

裏

投票年月日 令和8年〇月〇日
不在者投票管理者 院長 宮崎 花子
立会人 日本 一郎
交付市町村名 年 月 日
交付年月日
船員が登録されている選挙人名簿の属する市町村名

立会人の署名
必ず立会人が自分で書くこと

投票場所 〇〇病院 〇〇室
不在者投票管理者の氏名を記載

投票した日を記載

投票記載場所である部屋の名称まで記載

【注意】「投票年月日」、「投票場所」及び「不在者投票管理者氏名」のいずれか一つの記載を欠く場合又は選挙人の署名もしくは立会人の署名を欠く場合は、その投票は受理されませんので注意してください。

令和8年1月25日執行 都城市議会議員選挙代理投票処理簿

指定病院等住所
指定病院等名称
不在者投票管理者氏名

都城市〇〇町〇〇番地
医療法人〇〇会 〇〇病院
院長 宮崎 花子 ㊞

選挙人名簿登録地 市 町 村 名		都城市						
一連番号	代理投票申請 選挙人氏名	代理投票の 事由	補助者の選 任について 意見を聴か れた旨の投 票立会人確 認欄（署名・ 認印等）	不在者投票管 理者が定めた 補助者氏名 （二人の氏名）	代理記載した 補助者氏名	立会いした 補助者氏名	代理投票 の 日 時	備 考
	〇〇 〇〇	身体の故障	日本一郎	〇〇〇〇 △△△△	〇〇〇〇	△△△△	〇月〇日 〇時〇分	
	〇〇 〇〇	身体の故障	㊞	〇〇〇〇 △△△△	〇〇〇〇	△△△△	〇月〇日 〇時〇分	
							月 日 時 分	
							月 日 時 分	
							月 日 時 分	
							月 日 時 分	
							月 日 時 分	
							月 日 時 分	
							月 日 時 分	

（注意） 備考欄には、代理投票の仮投票があればその旨記載し、その事由も併記してください。

※ この用紙は、都城市選挙管理委員会に1部送付し、1部は保管してください。

不在者投票送致書

令和 8 年 月 日

都城市選挙管理委員会
委員長 中邑 順一郎 宛て

指定病院等住所 都城市〇〇町〇〇番地指定病院等名称 医療法人〇〇会 〇〇病院不在者投票管理者氏名 院長 宮崎 花子 ⑤

令和8年 1 月 25日執行の都城市議会議員選挙における不在者投票を下記のとおり送致いたします。

記

投票年月日		令和8年 月 日					
投票立会人		氏 名	備 考	氏 名		備 考	
投票の状況	種別	投票用紙受領数 F (D+E)	本人投票 A	代理投票 B	点字投票 C	総投票数 D (A+B+C)	未使用数 E
	都城市議会 議員選挙						
投票しなかった 選挙人及び事由		氏 名	事 由		氏 名	事 由	

※投票用紙受領数等（A～Fの欄）は、それぞれ枚数を記入してください。

不在者投票経費請求書

金 2,472 円也

ただし、令和8年1月25日執行の都城市議会議員選挙の経費として

【内 訳】

- 不在者投票に係る経費 2,472 円
(1,236円×2件 別紙「不在者投票者名簿」のとおり)
- 外部立会人に係る経費 0 円
(別紙「外部立会人報告書」及び領収書等の写しのとおり)

都城市内の施設では、外部立会人に係る経費は該当しません。

上記のとおり請求します。

令和8年 月 日

都 城 市 長 宛て

住 所 都城市〇〇町〇〇番地
施 設 名 医療法人〇〇会 〇〇病院

代表者（不在者投票管理者）

職 名 院長
氏 名 宮崎 花子

印

振 込 口 座	金融機関名	ゆうちょ 銀行 金庫 農協	支店 支所 営業部 出張所	預金種目	普通・当座
	フリガナ	イロハリゾソマルカイ リゾチヨウ シカカクシカクシカ	三二八	口座番号	1 3 4 5
座	名 義	医療法人〇〇会 理事長 □ □ □ □			

※ 名義は、楷書で届出のとおり正確に記載し、必ずフリガナを付けること。

※ 不在者投票管理者（請求者）と振込先銀行口座名義が同一でない場合は、下記委任状を必ず記入してください。

(注意)

当該施設等で不在者投票をした選挙人について、経費を請求してください。

「不在者投票管理者」と「口座名義」が異なる場合は「委任状」欄も記載してください。

受任者欄は「口座名義」をそのまま記載してください。

同じ印を押印

委任状

上記経費の受領を 医療法人〇〇会 理事長 □□□□ に委任します。

令和8年 月 日

施設名 医療法人〇〇会 〇〇病院

不在者投票管理者 職名 院長 氏名 宮崎 花子

印

不 在 者 投 票 者 名 簿

(都城市議会議員選挙)

指定病院等名称： 医療法人〇〇会 〇〇病院

番号	選 挙 人 住 所	選挙人氏名	投票用紙等 受領年月日	投票用紙等 送致年月日
1	都城市 〇〇町〇〇-〇〇	〇〇 〇〇	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日
2	都城市 〇〇町〇〇-〇〇	〇〇 〇〇	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日
3	都城市			
4	都城市			
5	都城市			
6	都城市			
7	都城市			
8	都城市			
9	都城市			
10	都城市			
11	都城市			
12	都城市			
13	都城市			
14	都城市			
15	都城市			
16	都城市			

合計 2 人 × 1,236円 = 2,472 円

外部立会人報告書

都城市選挙管理委員会事務局 宛て

都城市議会議員選挙において、下記のとおり外部立会人を選任し、不在者投票を実施しました。

令和 年 月 日

指定病院等名称 医療法人〇〇会 〇〇病院

記

1 不在者投票実施日時

令和8年〇〇月〇〇日(〇)

午前・午後 1時00分 ～ 午前・午後 2時15分

1時間未満の立会実績は、1時間に繰り上げます。この場合は、2時間分の経費(上限2,917円)を請求することができます。

※複数回実施した場合は、括弧内に適宜記載してください。

2 外部立会人(外部立会人候補者名簿登載者)の氏名

「名簿登載者」に謝金を支払った場合は、1時間当たり約1,458円(9ページ)を上限に経費請求することができます。ただし、上限の範囲内で実際に支払った金額までです。また、領収書の写しを添付してください。

●公職選挙法（昭和 25 年法律第 100 号）関係条文の抜粋

（代理投票）

第 48 条 心身の故障その他の事由により、自ら当該選挙の公職の候補者の氏名（衆議院比例代表選出議員の選挙の投票にあつては衆議院名簿届出政党等の名称及び略称、参議院比例代表選出議員の選挙の投票にあつては公職の候補者たる参議院名簿登載者の氏名又は参議院名簿届出政党等の名称及び略称）を記載することができない選挙人は、第 46 条第 1 項から第 3 項まで、第 50 条第 4 項及び第 5 項並びに第 68 条の規定にかかわらず、投票管理者に申請し、代理投票をさせることができる。

2 前項の規定による申請があつた場合においては、投票管理者は、投票立会人の意見を聴いて、投票所の事務に従事する者のうちから当該選挙人の投票を補助すべき者二人を定め、その一人に投票の記載をする場所において投票用紙に当該選挙人が指示する公職の候補者（公職の候補者たる参議院名簿登載者を含む。）一人の氏名、一の衆議院名簿届出政党等の名称若しくは略称又は一の参議院名簿届出政党等の名称若しくは略称を記載させ、他の一人をこれに立ち合わせなければならない。

3 略

（期日前投票）

第 48 条の 2 選挙の当日に次の各号に掲げる事由のいずれかに該当すると見込まれる選挙人の投票については、第 44 条第 1 項の規定にかかわらず、当該選挙の期日の公示又は告示があつた日の翌日から選挙の期日の前日までの間、期日前投票所において、行わせることができる。

(1) 職務若しくは業務又は総務省令で定める用務に従事すること。

(2) 用務（前号の総務省令で定めるものを除く。）又は事故のためその属する投票区の区域外に旅行又は滞在をすること。

(3) 疾病、負傷、妊娠、老衰若しくは身体の障害のため若しくは産褥じよくにあるため歩行が困難であること又は刑事施設、労役場、監置場、少年院、少年鑑別所若しくは婦人補導院に収容されていること。

(4) 交通至難の島その他の地で総務省令で定める地域に居住していること又は当該地域に滞在をすること。

(5) その属する投票区のある市町村の区域外の住所に居住していること。

(6) 天災又は悪天候により投票所に到達することが困難であること。

2～8 略

（不在者投票）

第 49 条 前条第 1 項の選挙人の投票については、同項の規定によるほか、政令で定めるところにより、第 42 条第 1 項ただし書、第 44 条、第 45 条、第 46 条第 1 項から第 3 項まで、第 48 条及び第 50 条の規定にかかわらず、不在者投票管理者の管理する投票を記載する場所において、投票用紙に投票の記載をし、これを封筒に入れて不在者投票

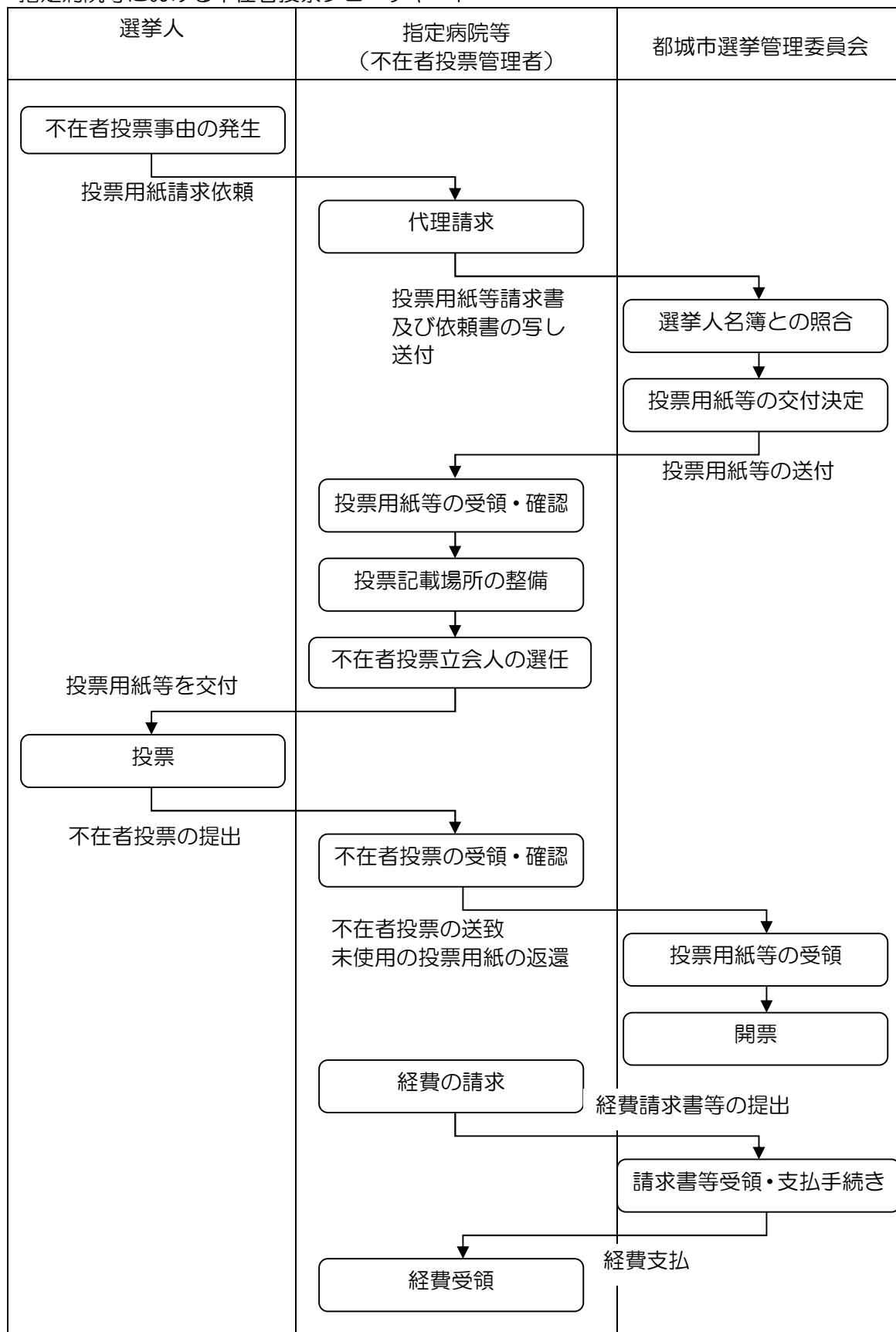
管理者に提出する方法により行わせることができる。

- 2 選挙人で身体に重度の障害があるもの(身体障害者福祉法(昭和 24 年法律第 283 号)第 4 条に規定する身体障害者、戦傷病者特別援護法(昭和 38 年法律第 168 号)第 2 条第 1 項に規定する戦傷病者又は介護保険法(平成 9 年法律第 123 号)第 7 条第 3 項に規定する要介護者であるもので、政令で定めるものをいう。)の投票については、前条第 1 項及び前項の規定によるほか、政令で定めるところにより、第 42 条第 1 項ただし書、第 44 条、第 45 条、第 46 条第 1 項から第 3 項まで、第 48 条及び第 50 条の規定にかかわらず、その現在する場所において投票用紙に投票の記載をし、これを郵便又は民間事業者による信書の送達に関する法律(平成 14 年法律第 99 号)第 2 条第 6 項に規定する一般信書便事業者、同条第 9 項に規定する特定信書便事業者若しくは同法第 3 条第 4 号に規定する外国信書便事業者による同法第 2 条第 2 項に規定する信書便(以下「郵便等」という。)により送付する方法により行わせることができる。

3～9 略

- 10 不在者投票管理者は、市町村の選挙管理委員会が選定した者を投票に立ち会わせることその他の方法により、不在者投票の公正な実施の確保に努めなければならない。

指定病院等における不在者投票フローチャート



宮崎県内市町村選挙管理委員会の外部立会人対応状況一覧

令和7年6月24日現在

「①名簿作成」：市町村選管において「外部立会人候補者名簿」作成済

「②職員対応」：市町村選挙管理委員会職員が立会人として対応

市町村名	① 名簿作成	② 職員対応	③ 対応なし	備考
宮崎市	○			
都城市		○		
延岡市	○			
日南市	○			
小林市	○			
日向市	○			
串間市		○		
西都市	○			
えびの市	○			
三股町	○			
高原町	○			
国富町		○		
綾町		○		
高鍋町		○		
新富町		○		
西米良村			○	施設なし
木城町	○			
川南町	○			
都農町	○			
門川町	○			
諸塚村		○		
椎葉村		○		
美郷町		○		
高千穂町		○		
日之影町		○		
五ヶ瀬町	○			